

服育研究会主催

第17回

服育ラボ

FUKUIKU LAB

定期セミナー

私たちは服育を3つの観点から考えていきます。

環境

健康・安全

社会性



EARTHINK LIFETHINK DRESSTHINK

日時 2013年10月26日(土) 14:00 - 16:00

対象 学校・教育関係者 ※その他の方はお問い合わせ下さい

場所 服育ラボ(チクマ本社1F)

参加費 無料

主催 服育研究会

先着順
受付

お申込み方法

●服育研究会まで直接お申し込み

Tel. 06-6222-3531

E-mail fukuiku@fukuiku.net

※お名前、学校名、ご連絡方法についてお伝えください

●服育HPの申し込みフォームから

<http://www.fukuiku.net/>

14:00-15:30 90分

Main
メインセミナー
Seminar

防災へ、服からのアプローチ

～身近な衣服から始める震災への備え～

東日本大震災以降防災教育の重要性が叫ばれ、災害に対する備えについても建物の耐震化や食料等の避難拠点への備蓄など、様々な対策がとられています。しかしその多くは子ども達が直接かわるものではなく、震災から時が経つにつれ身近な問題として捉え難く感じている子もいるのではないのでしょうか。

子ども達がより主体的に関わっていくためのひとつの解が「衣服」かもしれません。誰にとっても毎日着用する身近な衣服。どんな状況の中でもなくてはならない衣服から災害への備えを考え行動することで、よりリアリティを持って捉えることができるのではないのでしょうか。

本セミナーでは衣服から防災への取り組みについて、どのような観点があるのか広く考えてまいります。

講師プロフィール

横浜国立大学 教育人間科学部 教授

薩本 弥生 (さつもとやよい)

■現在

横浜国立大学教育人間科学部教授・博士(被服環境学)

2004年4月より本学会「快適性・健康」研究委員会委員

■経歴

1987年 お茶の水女子大学家政学部被服学科卒業

1989年 お茶の水女子大学大学院家政学研究科被服学専攻修士課程修了

1992年 文化女子大学大学院家政学研究科被服環境学専攻博士課程修了

■研究内容

被服環境学・被服衛生学・被服構成学をベースとして着衣の熱水分移動特性、着衣の運動機能性に関する研究に従事。

■主な著書

- ・アパレルと健康—基礎から進化する衣服まで—、日本家政学会被服衛生部会編、株式会社井上書院、分担執筆、2012。
- ・衣生活の科学、谷田貝麻美子、間瀬清美編著、アイケイコーポレーション、分担執筆、2008。
- ・快適ライフを科学する、薩本弥生編著、丸善株式会社、2003。
- ・衣生活の科学、分担執筆、放送大学教育振興会、2002。

ほか

例えばこんな場面に
役立ちます防災教育に
防災の取組を
身近な視点で家庭科で
被服分野
について教える時に生徒との会話に
日常生活の中に
防災の視点を

15:30-16:00 30分

子ども達を守る様々な衣服の取組

～制服で、授業で、子ども達を守る様々な取組紹介～

子ども達を取り巻く様々な危険要因に対し、私達に何ができるか考えてまいります。毎日着用する衣服でできる工夫はもちろん、被服実習に防災の観点を取り入れた取り組み事例についてもご紹介いたします。

Sub
サブセミナー
Seminar

講師：服育研究会 有吉直美

株式会社チクマ キャンパス事業部

●大阪本社：大阪市中央区淡路町3-3-10 TEL.06-6222-3511 FAX.06-6222-3614 E-mail o-campus@chikuma.co.jp

●東京支店：東京都中央区日本橋本町3-7-2 シオノギ本町共同ビル2階 TEL.03-3667-5323 FAX.03-3667-5333

●キャンパス事業部HP <http://www.chikuma.co.jp/cam.htm>

・福岡支店：TEL.092-281-4580・名古屋営業所：TEL.052-939-1252

・仙台営業所：TEL.022-265-5535・札幌事務所：TEL.011-741-0211

- 大阪市営地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」11番出口より徒歩5分
- 大阪市営地下鉄御堂筋線「本町駅」1番出口より徒歩5分
- 京阪電車「淀屋橋駅」13番出口より徒歩10分

